

1 第二タンロン工業団地

概要	
開発・運営事業者	Thang Long Industrial Park II Corporation (住友商事(株)の事業会社)
場所	ベトナム フンイエン省 (ハノイ中心部より南東 33km、車で約 45 分)
総開発面積	346 ヘクタール 第一期 220 ヘクタール(完売) 第二期 126 ヘクタール(販売中)
神奈川インダストリアルパーク事業の協定締結状況	2015 年 6 月 22 日 KIP と Thang Long Industrial Park II Corporation が協定締結 2017 年 8 月 28 日 協定内容を一部変更(連携する区画を貸工場区画全てに拡大)
神奈川インダストリアルパークとして連携する区画	第二タンロン工業団地の全ての貸工場 総数:9.5ヘクタール、全12棟、30 区画、賃貸面積:500 ㎡から 内訳:第一期の貸工場:6.8 ヘクタール、全 10 棟、25区画 第二期の貸工場:2.7 ヘクタール、全 2 棟、5 区画
県内企業への支援内容	① 管理費の免除 第一期の貸工場:管理費(1 米ドル/㎡)の 1 年分免除 第二期の貸工場:管理費(5,000 米ドル/ユニット)の 1 年分免除 ② 投資ライセンス取得手続き費用の減免 投資ライセンス取得等の代行有料サービスが無料(実費負担のみ)

第二タンロン工業団地は、ベトナムでの工業団地開発・運営に約 20 年の経験を持つ、住友商事(株)が開発した工業団地です。

首都ハノイ市の南東部に隣接するフンイエン省にあり、ハノイ市内から車で約 45 分の距離です。ハノイ市及び国際港湾を擁するハイフォン市を結び、大手日系企業の進出が進む国道5号線沿いに立地していることから、今後の発展が期待されている地域です。

また、2015 年にはハノイーハイフォン間を結ぶ高速道路が開通し、第二タンロン工業団地は、フンイエン IC より7km の場所にあるため、ハノイ中心部やハイフォン港へのアクセスが格段に向上しています。



第二タンロン工業団地の貸工場区画(一部)外観



(住友商事(株)提供)

第二タンロン工業団地の貸工場外観



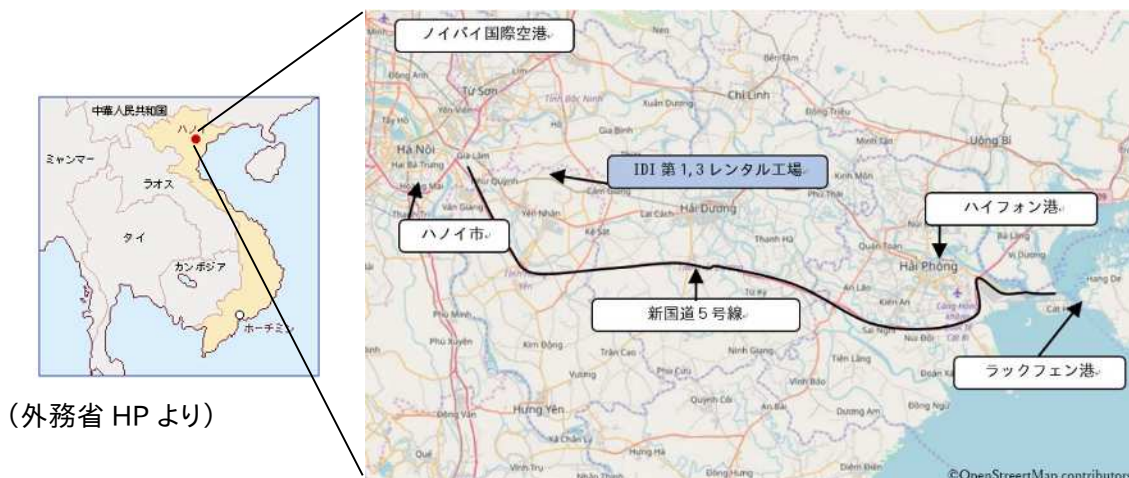
(住友商事(株)提供)

2 フォーノイ A 工業団地内 IDI 第 1,3 レンタル工場

概要	
開発・運営事業者 (工業団地全体)	HOA PHAT URBAN DEVELOPMENT CONSTRUCTION (ベトナムで工業団地開発や鉄鋼製造など幅広い事業を行う HOA PHAT GROUP の傘下企業)
開発・運営事業者 (貸工場のみ)	イデインターナショナル Co.,Ltd (親会社:イデシヨー(株)(静岡県富士市))
場所	ベトナム フンイエン省 (ハノイ中心部より南東 24km、車で約 40 分)
総開発面積	960 ヘクタール 第一期 600 ヘクタール(販売中) 第二期 360 ヘクタール(開発中)
神奈川インダストリアルパーク事業の協定締結状況	2017 年 8 月 22 日 KIP とイデインターナショナル Co.,Ltd が協定締結
神奈川インダストリアルパークとして連携する区画	イデインターナショナル Co.,Ltd が開発・運営する全ての貸工場 総数:6.2ヘクタール、全15棟、19区画、賃貸面積:1,000 ㎡から 内訳:IDI 第1レンタル工場(2.2ヘクタール、全9棟、9区画) IDI 第3レンタル工場(4.0ヘクタール、全6棟、10区画)
県内企業への支援内容	① 敷金(デポジット)の減免 敷金(デポジット)の減免(賃料の 3 か月分→1.5 か月分) ② 投資ライセンス取得手続き費用の減免 投資ライセンス取得等の代行有料サービスが無料(実費負担のみ)

フォーノイ A 工業団地内の貸工場は、ベトナムでの貸工場開発・運営に 10 年以上の経験を持つ、イデインターナショナルが開発・運営をしています。

同社では、貸工場開発・運営に加え、建設工事、内装工事、各種ライセンス取得サポートも行っており、ベトナムへの進出検討段階から入居後のアフターサービスまで一貫して担っています。



フォーノイ A 工業団地の貸工場区画 (IDI 第 1 レンタル工場) 外観



(イデインターナショナル Co.,Ltd 提供)

フォーノイ A 工業団地の貸工場区画 (IDI 第 3 レンタル工場) 外観



(イデインターナショナル Co.,Ltd 提供)

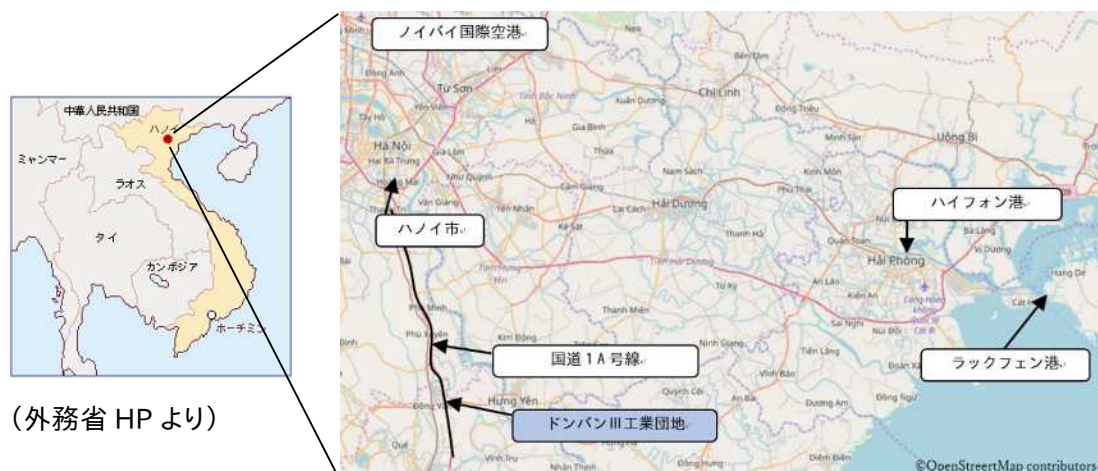
3 ドンバンIII工業団地

概要	
開発・運営事業者	ハナム省ドンバンIII工業団地インフラ開発会社 (ハナム省政府が出資する第三セクター)
場所	ベトナム ハナム省 (ハノイ中心部より南 40km、車で約 45 分)
総開発面積	300 ヘクタール 第一期 131.59 ヘクタール(販売中) 第二期 168.41 ヘクタール(造成中)
神奈川インダストリアルパーク事業の協定締結状況	2017年8月1日 KIP とハナム省ドンバンIII工業団地インフラ開発会社が協定締結
神奈川インダストリアルパークとして連携する区画	ドンバンIII工業団地の全ての区画 総数:300ヘクタール(一般分譲区画、貸工場区画から構成)
県内企業への支援内容	一般分譲区画 区画価格の減免(95→93米ドル/㎡) 管理費(約0.3米ドル/㎡)の1年分免除
	貸工場区画 賃料の減免(5.2→5.0米ドル/㎡)及び6か月間免除 管理費(約0.3米ドル/㎡/年)の1年分免除 予約金の減免(20,000→10,000米ドル) 保証金の減免(20,000→10,000米ドル)

ドンバンIII工業団地は、ハナム省政府主導により、日系企業専用の工業団地として整備され、工業団地の管理もハナム省政府が直営で行っています。

ベトナム北部最大のインランド・コンテナ・デポ(内陸保税蔵置場)の設置が決定し、今後ベトナム北部の重要な物流ハブとして機能することが期待されています。

ハナム省政府の強力なリーダーシップのもとで企業誘致を進めており、24時間の電力供給の確保などを公約(コミットメント)として設定しています。



ドンバンIII工業団地の全体図



(ドンバンIII工業団地インフラ開発会社提供)

ドンバンIII工業団地のメインゲート



(ドンバンIII工業団地インフラ開発会社提供)

4 KIZUNA Ready サービス工場

概要	
開発・運営事業者 (工業団地全体)	タンキム工業団地:タンキム住宅街&工業団地インフラ開発有限会社 タンキム拡張工業団地:ダン・クイン工業団地開発・管理株式会社
開発・運営事業者 (貸工場のみ)	KIZUNA JV CORPORATION なお、同社の日本窓口は、株式会社 VCC (東京都板橋区) が担う
場所	ベトナム ロンアン省 (ホーチミン中心部より南 19km、車で約 40 分)
総開発面積	156.5 ヘクタール 104 ヘクタール (タンキム工業団地) 52.5 ヘクタール (タンキム拡張工業団地)
神奈川インダストリアルパーク事業の協定締結状況	2017 年 10 月 26 日 KIP と KIZUNA JV CORPORATION、株式会社 VCC が協定締結
神奈川インダストリアルパークとして連携する区画	KIZUNA JV CORPORATION が開発・運営する全ての貸工場 (KIZUNA Ready サービス工場) 総数:23ヘクタール、全 20 棟、193区画、賃貸面積:240 ㎡から 内訳:KIZUNA1 4.2ヘクタール、全 6 棟、33区画 KIZUNA2 6.5ヘクタール、全 5 棟、72 区画 KIZUNA3&KIZUNA3 拡張 12.3ヘクタール、全9棟、88区画
県内企業への支援内容	① 賃料 1 か月分の免除 ② 投資ライセンス取得手続き費用の減免 投資ライセンス取得等の代行有料サービスが無料 (実費負担のみ) ③ (株)VCC によるベトナム進出相談 (法律・税務等) の 2 時間無料

KIZUNA Ready サービス工場は、ベトナムでの工業団地開発・運営に約 38 年の経験を持つ、ドン・ホン・ユン代表取締役会長兼社長 (KIZUNA JV CORPORATION) が開発した、緑溢れる綺麗な環境と入居企業様の効率性の向上のための各種サポートサービスが特徴のレンタルサービス工場です。

ホーチミン市とロンアン省の境界線に位置し、ホーチミン市内からは車で約 40 分の距離です。日本人の管理者が多く駐在するエリア、フーミン大都市からは車で約 25 分の距離で KIZUNA のシャトルバスサービスを利用した場合、通勤コストも削減でき安心・安全に通勤をすることができます。



KIZUNA3 拡張エリアの4階建て工場



(KIZUNA JV CORPORATION 提供)

4階建て工場内 - 全工場内は自動消防スプリンクラー完備



(KIZUNA JV CORPORATION 提供)